

埼玉県保健医療計画に基づく病床整備計画報告書

1 整備計画概要

医療機関名	丸木記念福祉メディカルセンター
所在地	埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 番地
整備（増床）病床数	50 床
（医療機能別内訳）	地域包括ケア病床 50 床

2 開設年月：令和元年 10 月

3 病床整備による地域医療課題への対応目標

- 新たに整備した地域包括ケア病棟の実績（令和元年 10 月から令和 2 年 8 月）は、稼働率 82.3%、入院者 510 名、退院者 463 名となっている。
- 入院者数のうち、在宅・介護施設からの入院は 285 名（55.8%）で、全国平均の 35%を上回っており、サブアキュート機能を強化し、今後も継続して取り組む予定である。
- また、現在は在宅復帰率 50%程度であるが、地域医療連携を強化し、入院料がランクアップできる 70%を目指して取り組んでいる。

4 他医療機関・施設等との連携・協議状況

年月	相手方	連携・協議内容
令和元年 11 月	埼玉医大	診療部長会議に参加し、当該病棟機能と受け入れ可能患者の情報共有と協議を行った。
令和 2 年 2 月	国際医療センター	医局長会議に参加し、当該病棟機能と受け入れ可能患者の情報共有と協議を行った。
令和 2 年 4 月	介護施設 (3 施設)	定期訪問による情報交換で、医療と連携する上での課題を共有し、スムーズな入退院支援が行える関係性や体制を構築している。
随時	ケアマネ	定期訪問による情報交換で、医療と連携する上での課題を共有すること、退院前カンファへ出席頂くことを通じてスムーズな入退院支援が行える関係性や体制を構築している。

5 その他（地域での医療連携での取組、新型コロナウイルス感染症の影響など）

- 令和元年 11 月に地域の介護施設職員、ケアマネ等を対象とした連携会を開催し、医療・介護連携における問題点や課題を共有して、地域で一体的な患者支援が行える体制について検討した。
- 埼玉医大や国際医療センターの各診療科の回診や退院支援ラウンドに同行し、紹介患者の情報共有やスムーズな支援を行える関係性や体制を構築している。
- 新型コロナウイルス対策として、発熱患者は埼玉医大で対応し、検査結果が陰性の場合は速やかに当該病棟で受け入れており、ポストアキュート機能を発揮している。